「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | | ②職名・授業者氏名 | | ③教科 | ④ペアでの  話合い活動 | ⑤グループでの  話合い活動 |
| ２年１組 | | 教諭・日田　夢子 | | 生活 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | | おもちゃランドを作って、１年生やこども園のみんなを招待しよう | | | | |
| ⑦本時のねらい | | 自分が作りたい動くおもちゃを、  友だちのおもちゃと比べたり、材料などを変えて試したりすることによって、  自分の思いや願いが叶うように工夫して作ることができるようにする。 | | | | |
| ⑧本時の評価規準 | | 【思考・判断・表現】動きの似ているおもちゃを作っている友だちと、よりよくするための方法を比べたり、材料などを変えて試したりしながら工夫して作っている。〔観察〕 | | | | |
| ⑨  展開 | めあて | おもちゃをパワーアップする作戦を確かめよう | | | | |
|  | 課　題 | （パタパタカー）もっと遠くまで走らせるにはどうしたらいいかな  ※「なめらかに動く」「おもしろい動きをする」「高く跳ぶ」「速く走る」「丈夫にする」など、グループごとに課題を立てさせる。 | | | |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て  ・材料の違いによって動きに違いが出ることに気付きやすいよう、　付け替えると動きが大きく違ってくる材料を用意する。 | | | |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て  ・場の状況や相手の気持ちを理解することができず、友だちとトラブルになる児童に対して、両者の話を聞くだけでなく、時系列に記録していくことで、出来事の前後関係を視覚的に明確にする。 | | | |
| まとめ | （パタパタカー）  ・風を受ける帆を大きくするとよい。  ・風をよく受けるように傾きを調節するとよい。など | | | |
| 振り返り | ・友だちのおもちゃと比べると、パワーアップするヒントをもらえた。  ・材料や作り方を変えると、動き方も変わった。 | | | | |
| 板書計画　　おもちゃをパワーアップする作せんをたしかめよう  めあて  びゅんびゅんｶｰ  もっとじょうぶにするにはどうしたらいいかな  さかみちコロコロ  もっとおもしろい動きをするにはどうしたらいいかな  ﾋﾟｮﾝﾋﾟｮﾝｼﾞｬﾝﾌﾟ  もっと高くとばせるにはどうしたらいいかな  コトコトのぼり  もっとなめらかに動かすにはどうしたらいいかな  パタパタカー  もっととおくまで走らせるにはどうしたらいいかな  かだい  ｸﾞﾙｰﾌﾟの作戦  ｸﾞﾙｰﾌﾟの作戦  ｸﾞﾙｰﾌﾟの作戦  ｸﾞﾙｰﾌﾟの作戦  ｸﾞﾙｰﾌﾟの作戦  作せん  方ほう  ・作せんをやってみる（はかる　きそう　くらべる　数える　かえる）  　　　　　　　・よい方ほうを見つける。  　　　　　　　・わかったことをワークシートに書く。  ・わゴムをかけ　るところをビニルテープでまきつけるとじょうぶになる。　など  ・わゴムの数をふやすと高くとぶ。  など  ・ひもを太くする　となめらかに動く。  　など  ・電池の大きさを変えると動き方が変わる。  　など  ・かぜをうけるほを大きくするととおくまで走る。　など  まとめ  ふりかえり  ・友だちのおもちゃと比べると、パワーアップするヒントをもらえた。  ・材料や作り方を変えると、動き方も変わった。 | | | | | | |